

# 保護者のみなさまへ

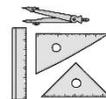
～「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果について～

河内長野市立加賀田中学校

## 《基本的な考え方》

本調査については、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」と文部科学省の目的にあります。これらを含めて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

- 子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。
- 学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



## 《調査結果の取り扱い》

今年度も全国学力・学習状況調査の結果と分析を提供いたします。

- ◇本調査により測定できるのは、学力に限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。
- ◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取組の改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取組を進めていきます。

## 《お願い》

- 学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張っ克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。
- 学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願いいたします。
- 調査結果のうち、正答率については、調査に参加した子ども並びに保護者の方のみ提供しているものです。学校間の序列化や過度な競争につながらないように、その取り扱いについては、十分にご留意いただきますようお願いいたします。



## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析 河内長野市立加賀田中学校

### 学力調査の概要

#### 国語

設問番号	学校の 平均正答率
①一	89.5% +
①二	52.6% -
①三	72.4% -
①四	82.9% +
②一	93.4% +
②二	73.7% +
②三	80.3% +
②四	71.1% +
③一	59.2% +
③二	43.4% -
③三	69.7% +
③四	73.7% +
④一	88.2% +
④二	80.3% +
④三	53.9% +

#### 概要

本校の全体の正答率が72%で、府68%、全国69.8%に対して上回っていました。設問別では、ほとんどの設問で平均を上回っていますが、一部下回っている設問があります。また、記述を含む設問における無回答率が昨年度と同様に府・全国と比べて低い値となっています。

#### 特に成果が見られた問題例

概要にある通り、①四、②四、③三、③四、④三など、設問の意図を理解し、自分なりの言葉で表現する、思考・判断・表現を問われる記述問題において、いずれも府・全国よりも高い正答率となっています。また、無回答率も低くなっています。

#### 特に課題が見られた問題例

①二・三の読み取り、③二の漢字を書くことなどの理解が府・全国の平均以下でした。読書活動をさらに盛んにして、学習の基礎となる「読む力」をつけていくなどの工夫が必要となっています。

#### 数学

設問番号	学校の 平均正答率
①	33.3% -
②	84.6% +
③	33.3% +
④	42.3% -
⑤	46.2% +
⑥(1)	89.7% +
⑥(2)	53.8% -
⑥(3)	42.2% +
⑦(1)	48.7% -
⑦(2)	37.1% +
⑧(1)	59.0% +
⑧(2)	61.5% -
⑧(3)	39.8% -
⑨(1)	19.3% -
⑨(2)	28.2% -

#### 概要

本校の全体の正答率が48%で、府50%、全国51%に対して下回っています。設問別では、平均を上回っている回答もありますが、下回っている回答で、府・全国との正答率に隔たりがあるものが目立つ結果となりました。知識・技能を問う設問、思考・判断・表現を問う設問、どちらの回答にも課題が見受けられます。

#### 特に成果が見られた問題例

②の計算問題は府・全国平均より高く、基礎の定着が図られています。昨年度は課題となっていた府・全国平均を下回っていた⑦(2)の箱ひげ図の正答率が、今回は非常に高くなりました。

#### 特に課題が見られた問題例

⑧(3)[関数]⑨(2)[証明]など、無回答率が高い問題があります。①[自然数]や⑦(1)[四分位範囲]、⑨(1)(2)[証明]など、概要にある通り、正答率が府・全国との平均と大きく隔たりのある設問がありました。また、①[自然数]の無回答率も高く、習熟度に応じた、授業改善を続けていく必要があります。

## 英語

設問番号	学校の平均正答率
① (1)	79.5% +
① (2)	67.9% +
① (3)	61.5% +
②	60.3% -
③	43.6% +
④	56.4% +
⑤ (1)	62.8% +
⑤ (2)	69.2% +
⑥	35.9%
⑦ (1)	60.3% +
⑦ (2)	35.9% +
⑧ (1)	50.0% -
⑧ (2)	23.1% +
⑨ (1) ①	37.1% -
⑨ (1) ②	18% -
⑨ (2)	29.5% +
⑩	47.4% +

### 概要

本校の全体の正答率が47%で、府45%、全国45.6%に対して上回っています。リスニングがとくに強く、記述を含む設問においての無回答率も低く、複数の英単語や文法を使用した英作文にも果敢に挑戦していることがわかります。

### 特に成果が見られた問題例

概要にもある通り、①～④のリスニング問題に関し、②以外はすべて府・全国の平均を上回っており、英語を聴く力が育っています。⑩[英作文]に関しては、満点の生徒はほとんどいませんが、部分点となる生徒が多く、英語で表現する力も備わってきています。

### 特に課題が見られた問題例

⑨の(1)①と② [文法]が府・全国の平均と比べて正答率の隔たりが目立ちました。⑩[英作文]に関しても同様ですが、文法上の知識・技能に課題のある生徒が多くなっており、基礎・基本の定着

## 学習状況調査の概要

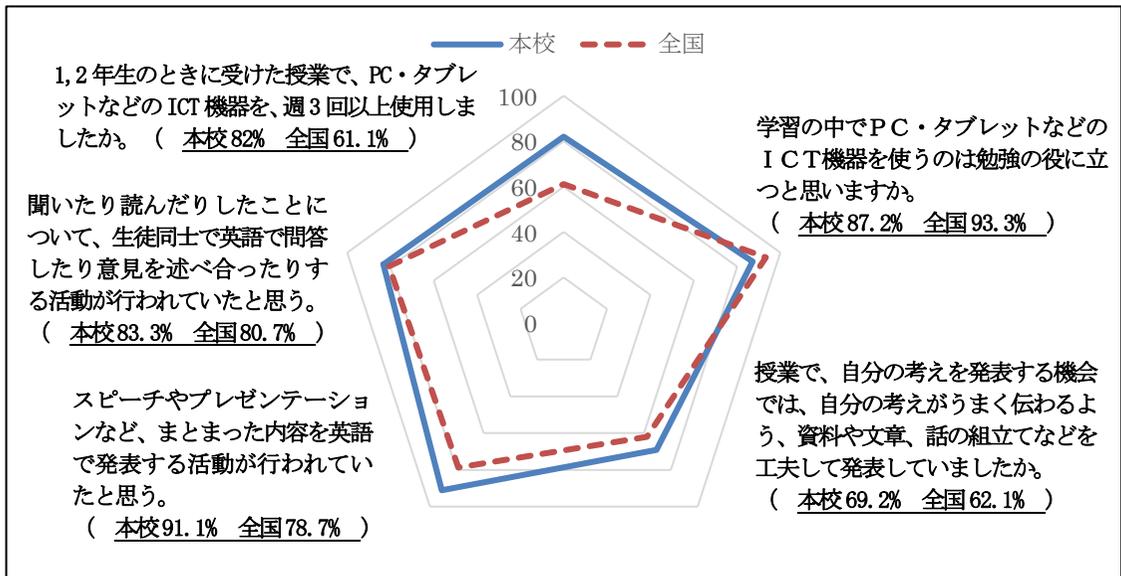
基本的な生活習慣を問う質問に対し、朝食を毎日食べている(88.4%)、朝に同じくらいの時刻に起きている(91.1%)と高い値になっていますが、同じ時刻に寝ている(68%)は低い値となっており、十分な睡眠時間の確保ができていない生徒が一定数います。

自分自身や学校での生活を問う質問では、人の役に立つ人間になりたいと思う(94.9%)、将来の夢や目標を持っている(64.1%)と、自分自身のキャリアに関して全国の値と比べても肯定的な回答が多くなっています。ただし、学校生活での先生や友人との関りに関し、先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う(79.4%)、人が困っているときは、進んで助けている(79.5%)、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う(93.6%)など、全国の値と比べると低くなっている回答もありました。

学習に関する質問では、家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(56.4%)と全国よりも値が高いものの、平日に2時間以上勉強している(29.5%)との回答は低くなっています。部活動に参加している生徒は(75.7%)と、全国よりもやや低い状況です。(学習に関連する各項目に関しては後述)

地域での暮らしに関する質問に対し、本校では地域と子どもとの関わり合いが年々増えている中で、今住んでいる地域の行事に参加している(34.6%)、地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う(61.6%)と、全国よりも肯定的な回答が若干低いですが、府の平均よりは高くなっています。

## グラフ① 成果が見られたアンケート項目例



### 特に成果が見られたアンケート項目例

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つという質問項目に対し、昨年度と同様に全国的に見てもICT機器の使用に関する生徒の意識が非常に高い中、上のグラフ①が示す通り、本校は使用において全国の回答を大きく上回っています。

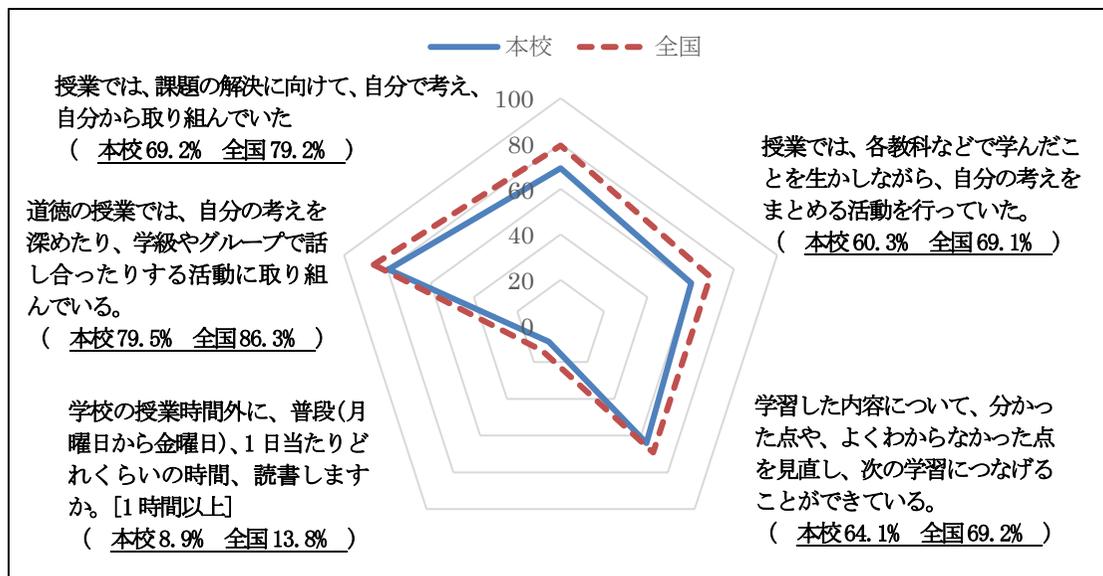
また、本校の学力向上のテーマとなっている、自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表したと肯定的な回答が多く、学力調査の結果に影響を与えていると推測されます。とくに、英語の授業に関する質問では、生徒による主体的な学びが進んでいることがわかる結果となりました。

### 特に課題が見られたアンケート項目例

次ページのグラフ②にある通り、課題に対し自分で考え自ら取り組んでいた、分かった点やよく分からなかった点を見直し次の学習に生かす、各教科などで学んだことを生かして自分の考えをまとめたなどの、肯定的な回答が少なくなっています。生徒の自主的な学習意欲を高め、教科横断的な学習となるように授業改善が必要となっています。学力の基礎を培う読書の時間も全体的に少なく、図書活動の充実を図るための環境を整備する必要があります。

また、道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動時間が少なく、道徳的価値を互いに高め合う機会が十分にとれていない現状がわかりました。生徒同士で話し合いや関わりを持つ時間を充実させ、道徳的価値観や他者に対する思いやりを醸成していかなければなりません。

## グラフ② 課題が見られたアンケート項目例



## 調査結果を受けて

### 学校が重点的に取り組んでいくこと

子どもの心に寄り添った指導を心がけたいと思います。今回の結果からも本校生徒の自己肯定感の低さが大きな課題だと考えます。これは日本の若者全体の課題でもあるといわれています。一つには、周りの大人からの期待の量や質が高すぎるためともいわれていますが、やはり、必要なタイミングでほめてもらえることで子どもたちは大きく成長します。子どもたちの自己肯定感の低さを我々加賀田中学校の教員の課題ととらえて、マイナス面だけを指摘するのではなく、子ども一人ひとりの良さに教職員が気づき、ほめて伸ばしていけるよう努めてまいります。

同時に、心の悩みに寄り添える教師であることも、子どもにとって大切なことです。日々様子を丁寧に心配りし、また、カウンセリング等で子どもたちの心の悩みに対して、ともに解決に向かって悩めるような、安心して相談にのってもらえる教員でありたいと思います。

学習面では、人の話に耳を傾けられる生徒、深く考えられる生徒、自分の考えを発表できる生徒を育成するために、授業改革を進め、評価の仕方も工夫できるようにします。学習指導要領でも示されている通り、主体的・対話的で深い学びができるような、授業計画を立て、実施できるように、教員研修などで、学校全体の学習指導に関する研究を進めていきます。

## 生徒のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

暗記型の1問1答式の問題だけではなく、資料を読みとり、自分なりに考察し、考えをまとめ、発表する力をこれからも学習の中で、是非つけていってください。問題の答えを覚える勉強だけではなく、自ら課題を発見し、深く考える力が大切です。なぜなら、これからの世の中は、未来の予測が非常に困難だと言われているからです。10年後には生活様式自体もガラッと変わり、AIの発達の中で生き残る仕事すら予想しづらくなります。ですから、その都度その都度、必要な情報や状況を集約し、それらを整理しながら冷静に分析し判断して、今後の方針を立てていき、実行することができないと、知識の量が豊富なだけでは活躍できない社会に変わります。そのことを意識して学習するようにしてください。

また、自分の枠内から飛び出られるように勇気をもって学習してほしいです。わかりやすく言うと、異文化学習です。加賀田・河内長野・大阪・日本という故郷の良さを知るとともに、外国語や海外の歴史や文化に触れ、海外の人や立場の違う人との交流を通して、自らの視野を広め、考えを深くし、故郷の良さを再発見できるような、積極的なチャレンジをする気持ちを持ってください。

次に重要なのは、人間関係です。AI社会になるからこそ、豊かな感情をベースとした人間関係はより重要になります。人の気持ちを考えられるやさしい人を目指してほしいです。また、人間関係を円滑にするためには、相手の気持ちを想像することとともに、自分を客観視できることが重要です。他人の行動は自らの目で見て耳で聞くことが出来るので判断しやすいのですが、ぜひ空中に心の目や耳を置いて、自分の行動や発言を他人の目線で見てください。そうすることで、お互いに理解しあえるようになると思います。

## 保護者のみなさまに協力してほしいこと

中学生の読書離れは全国的に顕著になっています。加賀田中学校でもその傾向は強く、このままでは、考える力の低下が大変心配されます。子どもたちの読書量を増やすためには、読書が日常である環境を整えることが重要です。ご家庭の身近な場所に本を置き、家族みんなが本を読む習慣を持つことが大切です。読書量の多い子のご家庭は、やはり家庭内で読書をするご家族が多い場合がほとんどだそうです。ぜひ身近に読書する人がいる環境を心がけてください。

もう一つお願いしたいのは、学校との連携です。家庭だけ、学校だけ、もしもこのような状況に陥ってしまうと、子どもは十分成長できません。子育てについて、今後とも学校と家庭でともに悩みともに工夫しともに成長を促せるように、お互いの役割について理解し尊重し協力し合えるように心がけていけたらと思っています。時にはあえて子どもに対して、協力して厳しい言葉を投げかけないといけないこともあるかもしれません。そのあたりも含め、子どもの成長を考えて、足並みをそろえて、ほめたり厳しくしたり時には役割をあえて変えたり、歩調をそろえて指導できますようにご理解ご協力お願いいたします。